



10月 **愛媛県** **鳥獣害** **防** **止** **対** **策** **月** **間** **強** **調** **で** **す**

◎群れをつくり行動します。オスはある程度育つと、育った群れを離れて単独または少数のオス集団で行動し、他の群れに合流しようとしています。ほぼ全てのメスは、生まれた群れで一生を過ごします。

ニホンザルの生態と特徴

◎警戒心が強いと同時に学習能力も高く、安全だと学習してしまうと大胆に行動します。

◎昼行性で、夜明けから日没までしか行動しません。

◎雑食性ですが、食べるものほとんどは植物性に偏っています。また、他の哺乳類が食べない、ネギ属（ネギ、ニンニクなど）の作物も食べます。

◎エサを探るときは、嗅覚よりも視覚に頼り、色彩で食べ物と判断しています。

秋 は農作物の収穫が盛んな時期ですが、同時に鳥獣による農作物への食害などが増加する時期でもあります。今回は農作物被害対策について、ニホンザルを事例に紹介します。

ニホンザルを近づけない環境を整えた次は、田畑の周辺に防護柵を適切に設置・管理しましょう。正しく設置された防護柵はニホンザルの侵入を確実に防ぐことができます。設置方法の相談などは、農林水産課鳥獣対策係まで問い合わせください。

田畑に侵入させない!!

step ②

▼田畑を餌場と思わせないため、また人間は敵だと思わせるために、追い払いを!

の適正な管理を!

▼隠れ場所がなく見通しの良いところは警戒するため、遊休農地などは、草を刈るなどの適正な管理を!

▼野菜くずや放置された農作物は人間にとってはゴミでも、ニホンザルにとってはごちそうです。意図しない餌付けを防ぐためにも必ず回収!

▼野鳥くずや放置された農作物は人間にとってはゴミでも、ニホンザルにとってはごちそうです。意図しない餌付けを防ぐためにも必ず回収!

▼野鳥くずや放置された農作物は人間にとってはゴミでも、ニホンザルにとってはごちそうです。意図しない餌付けを防ぐためにも必ず回収!

被害対策の第一歩は、ニホンザルを近づけない環境をつくることです。まず田畑に「行きたい。近づきたい」と思わせる要因を一つでもなくしましょう。

田畑に近づけない!!

step ①

哺乳類の効果的な防除方法

電気柵	農地を囲う線に電気を流し、田畑を防御する柵。イノシシなどの哺乳類が初めて見るものを鼻先で触れて確認しようとする習性を利用して、線に触れると電気ショックを与えて追い払う。対象の哺乳類によって設置の高さ、線の本数が異なる。
ワイヤーメッシュ柵	建築用の資材を用いて、イノシシなどの侵入を防ぐ。網目の大きさは10cm以下、線の太さは5mm以上が効果的。
複合柵	ワイヤーメッシュ柵の上部に電気柵を設置したもの。ジャンプ能力が高く、また柵を登ることのできるニホンザルに対応可能な柵。

市では、有害鳥獣の農作物被害防止のために、ワイヤーメッシュ、電気柵などを設置する場合には、資材購入費(税抜)の半額(上限原則5万円)を補助する制度があります。補助を受ける場合は、資材購

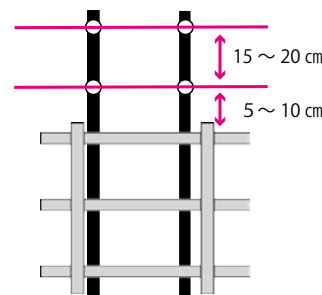
防護柵を設置するための補助金制度があります



煙火使用の様子

配布を受けるためには、安全講習会への参加が必要となります。農林水産課まで相談ください(煙火は大きな音を発生させることから、使用する地域自治会の同意をいただくようお願いしています)。

ニホンザル追い払い用の煙火(花火)を配布しています



ニホンザル対策用の複合柵

入前の申請が必要です。詳細は農林水産課まで問い合わせください。